

「主権者教育の推進」に関する陳情

陳情の趣旨

「主権者教育」を議会でどう進めるべきか、効果的な取り組みを求めて。
投票率の低下や地方議員のなり手不足は全国的に深刻な問題になっています。
議会における主権者教育（シティズンシップ教育・政治教育）の計画づくりなど今後の
取り組みの充実を求めます。
投票率の低下や地方議員のなり手不足は兼ねてから全国的な傾向であることが指摘されて
いましたが、民主政治の根幹に関わる深刻な問題であるとして、総務省では平成28年「地方
議会・議員に関する研究会」を立ち上げ、選挙制度や立候補を促進する環境整備について、
国民的な議論を求めています。
議会として出来ることは何か、課題として取り組み、主権者教育のあり方を、市民と共に考え
る契機として下さい。

陳情の理由

主権者教育を進めるには、目指す主権者像を掲げ、議会を含めた関係機関が共有し、市民共同
で進める必要があります。
目指す主権者像を「単に政治の仕組みについて、必要な知識を習得させる」ととどまらず、
「障害があってもなくても、また幼少期からの発達段階に即した、誰もが主権者として社会
の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担
うことができる、社会の構成員の育成を目指す」と定め、「主権者教育計画づくり」を視野に
入れ、総合的に知恵を出しあう場を求めます。

令和元年9月9日

住所 逗子市逗子7丁目10-17

ふりがな くどう じゅんいち
氏名 工藤 純一

逗子市議会議長 高野 毅様

